

関西学院大学大学院 2023年度 第1次 社会学研究科 入学試験問題

	試験科目 社会学専攻	専門科目
試験時間	90分	辞書の使用は認めない 1 / 1

解答は、別紙に記入すること。

I. 次の4問の中から1つを選んで答えなさい。(30点)

- A. 社会学における量的調査と質的調査のメリットとデメリットを比較検討した上で、具体的に現代における労働の実態を明らかにするための調査計画を立てなさい。【社会学】
- B. マックス・ウェーバー (Max Weber) とエミール・デュルケム (Émile Durkheim) を比較しながら、両者の社会学の方法について説明しなさい。【社会学】
- C. 「複数現場のエスノグラフィ」 (multi-sited ethnography) という方法が有効なものとして提起されるようになった文脈について論じなさい。【文化人類学・民俗学】
- D. Aさんは卒業論文において「テレビを視聴すると、日本維新の会に投票するようになる」という仮説を検証するため、2022年の参院選直後に自身のTwitterのフォロワー (137名) を対象とした調査を行い、98名から回答を得た。そして、テレビの視聴頻度 (1=毎日または、ほぼ毎日、2=週に4~5日程度、3=週に2~3日程度、4=週に1日以下、5=まったく見ない) と日本維新の会に対する好き嫌い (1=とても好き、2=やや好き、3=どちらともいえない、4=あまり好きではない、5=まったく好きではない) の相関係数を求めた。この研究の方法論上の問題点を思いつく限り述べなさい。なお、仮説自体が妥当であるかではなく、あくまで仮説を検証する上での手続きについて議論を行うこと。【社会心理学】

II. 次の4問の中から1つを選んで答えなさい。(30点)

- A. 日本において、なぜ少子高齢化が進行しているのかについて説明し、少子高齢化が社会にもたらす影響について社会学的に論じなさい。【社会学】
- B. AIが現在そして未来の社会にもたらす影響について社会学的に論じなさい。【社会学】
- C. エスニシティ研究における原初主義 (本質主義) と道具主義 (構築主義) との間の論争について解説した上で、エスニシティ研究の展望について論じなさい。【文化人類学・民俗学】
- D. 人間はどのような他者に好意を抱くのか、またそれはなぜかについて、社会心理学に基づいて、説明しなさい。【社会心理学】

III. 次の用語の中から4つを選んで説明しなさい。(10点×4)

- 1. 重要な他者 (significant other) 【社会学】
- 2. 社会階層と社会階級 (social stratification and social class) 【社会学】
- 3. 福祉レジーム (welfare regime) 【社会学】
- 4. 社会関係資本 (social capital) 【社会学・社会心理学】
- 5. 日本的雇用慣行 (Japanese employment practices) 【社会学】
- 6. ホモソーシャルリティ (homosociality) 【文化人類学・民俗学】 【社会学】
- 7. マーガレット・ミード著『サモアの思春期』 (Margaret Mead, *Coming of Age in Samoa*) 【文化人類学・民俗学】
- 8. トーテミズム (totemism) 【文化人類学・民俗学】
- 9. マルチスピーシーズ・エスノグラフィ (multispecies ethnography) 【文化人類学・民俗学】
- 10. セルフ・オリエンタリズム (self-Orientalism) 【文化人類学・民俗学】
- 11. 限定合理性 (bounded rationality) 【社会心理学】 【社会学】
- 12. 生態学的妥当性 (ecological validity) 【社会心理学】
- 13. 情動 (emotion) と気分 (mood) 【社会心理学】
- 14. 名誉の文化 (culture of honor) 【社会心理学】
- 15. ステレオタイプ内容モデル (stereotype content model) 【社会心理学】

※ 【社会学】 【文化人類学・民俗学】 【社会心理学】 は出題分野を表しています。

2022.09

関西学院大学大学院 2023年度 第2次 社会学研究科 入学試験問題

	試験科目 社会学専攻	専門科目
試験時間	90分	辞書の使用は認めない 1 / 1

解答は、別紙に記入すること。

I. 次の4問の中から1つを選んで答えなさい。(30点)

- A. 日本の貧困の実態とその背景を明らかにするために、調査をしたい。量的調査もしくは質的調査による調査計画を立てなさい。その上で、自分が計画した調査の利点と欠点を説明しなさい。【社会学】
- B. 方法論的個人主義と方法論的集合主義の違いについて、社会学の歴史を踏まえつつ、社会現象を具体的に例示しながら、説明しなさい。【社会学】
- C. 儀礼研究の今日的課題について、政治への視点に言及しつつ論じなさい。【文化人類学・民俗学】
- D. 研究において、実験参加者を無作為に異なる群に割り当てた実験(ランダム化比較試験:RCT)を用いることが出来ないのはどのような場合か、さらには、そのような場合に因果関係を検証するためにどのような手法が提案されているかについて、説明しなさい。【社会心理学】 【社会学】

II. 次の4問の中から1つを選んで答えなさい。(30点)

- A. 世界経済フォーラムが2022年7月に公表した「The Global Gender Gap Report 2022」によると、日本は146カ国中116位であった。日本におけるジェンダー不平等の現状について例示し、その背景を社会学的に論じなさい。【社会学】
- B. 社会にはさまざまな暴力がある。暴力が社会に与える影響について、具体的に一つの暴力を取り上げ社会学的に論じなさい。【社会学】
- C. 民族誌記述の今日的課題について、次の3点に言及しつつ論じなさい。①文化間比較、②ポジショナリティ、③インターネット上のコミュニケーション。【文化人類学・民俗学】
- D. 人々の態度が形成されるメカニズムについて、多面的に考察しなさい。【社会心理学】

III. 次の用語の中から4つを選んで説明しなさい。(10点×4)

- 1. 理想型 (ideal type) 【社会学】
- 2. 世俗化 (secularization) 【社会学】
- 3. 社会的事実 (social facts) 【社会学】
- 4. 近代化 (modernization) 【社会学】
- 5. 多段抽出法 (multistage sampling) 【社会学】
- 6. 言語論的転回 (linguistic turn) 【文化人類学・民俗学】
- 7. 原初的紐帯 (primordial attachment) 【文化人類学・民俗学】
- 8. シェリ・B・オートナー「女性と男性の関係は、自然と文化の関係か？」(Sherry B. Ortner, “Is Female to Male as Nature is to Culture?”) 【文化人類学・民俗学】
- 9. メアリ・ダグラス『汚穢と禁忌』(Mary Douglas, *Purity and Danger*) 【文化人類学・民俗学】
- 10. 人類学の世界システム (world system of anthropology) 【文化人類学・民俗学】
- 11. 自己評価維持モデル (self-evaluation maintenance model) 【社会心理学】
- 12. 項目反応理論 (item response theory) 【社会心理学】
- 13. 閾値モデル (threshold model) 【社会心理学】
- 14. 接種理論/効果 (inoculation theory / effect) 【社会心理学】
- 15. 愛の三角形モデル (triangular theory of love) 【社会心理学】